

基本タグ

※HTML5 からの新登場

※あまり使用する機会がないタグは、省略しています。



Copyright(c) 2016.APRIL MITSUYO NAKATA

コンテンツの分類 Grouping content	セクション Sections	テキストの意味 Text-level semantics	コンテンツの埋め込み Embedded content	テーブル (表) Tabular data	フォーム Forms
<p>	<body>	<a>	 空要素	<table>	<form>
<hr>	<section>		<iframe>	<caption>	<label>
	<nav>		<video>	<tr>	<input>
	<article>	<small>	<audio>	<td>	<input type=" ">
	<aside>	<time>	<map>	<th>	<button>
<dl>	<h1>-<h6>		<area>		<select>
<dt>	<header>	 空要素			<option>
<dd>	<footer>				<textarea>
<div>	<address>	<i>			
<main>		削除と追加 Edits			
<blockquote>		 <ins>			

- 一般にブロック要素と呼ばれるもの
- 一般にインライン要素と呼ばれるもの

空要素・・・ピンポイントで使用する要素

※注意：HTML5 では、インライン要素とブロックレベル要素の分類(としての考え方)は廃止されています。

だんらく

段落

ひとつの段落であることを表します。

<p></p>

開始タグ

<p>

文字列やイメージ

終了タグ

</p>

【このタグに入れられるもの】 a、img、span、strong、em…など

かいぎょう

改行

段落を分けずに改行します。

br 要素は、空要素なので終了タグは記述しません。

<p> むかしむかし、ある村に、心のやさしい浦島太郎（うらしまたろう）という若者がいました。
 浦島（うらしま）さんが海辺を通りかかると、子どもたちが大きなカメをつかまえていました。

</p>

```
<!DOCTYPE html>
```

```
<html>
```

```
<head>
```

```
<meta charset="UTF-8">
```

```
<title> パンダの種類 </title>
```

```
</head>
```

```
<body>
```

```
<p> パンダには、「ジャイアントパンダ」と「レッサーパンダ」と2種類があります。 </p>
```

```
<p> ジャイアントパンダが発見されるまで、パンダとはレッサーパンダを指しました。
```

```
この2種には、主食がタケであること、タケを食べるため歯の形が似ていること、
```

```
前肢には6本目の指といわれるでっぱりがあり、上手にタケを握れることなどの共通点があります。 </p>
```

```
</body>
```

```
</html>
```

くぎり

区切り

テーマや話題の区切りを表します。

<hr>

hr 要素は、空要素なので終了タグは記述しません。

段落レベルのテーマの区切り、途中で話題を変える時の目印となる際に使用します。例えば、物語におけるシーンの変わり目や、参考書のセクション内で別の話題に移る箇所などです。

list item の略

• 項目リスト

箇条書きリスト

リストの項目を記述する際に使用します。

ul,ol タグの中に入れることができるのは「li」タグのみです。

```
<ul>  
<li>--</li>  
</ul>
```

ul,ol タグの中に入れることができるのは「li」タグのみです。

果物の種類

- りんご
- バナナ
- いちご

```
<ul>
```

```
<li> ██████████ </li>
```

```
<li> ██████████ </li>
```

```
<li> ██████████ </li>
```

```
</ul>
```



「li」タグは「ul」「ol」の中でしか使えません。

li タグの中にはどんな要素も
入れることができます。

例えば、li タグの中に新たに ul リストを設置してリストの入れ子を作ったり、p や div などのブロックレベル要素を入れたりすることもできます。

【li の中に入れられるもの】

div、h1～h6、p、ul、dl、ol、li、span、img、strong、em…など

ordered list の略

- 順序のあるリスト

リスト

順序のあるリストを表示する際に使用します。

```
<ol> <li>--</li>  
</ol>
```

ul,ol タグの中に入れることができるのは「li」タグのみです。

人気のメニューベスト3

1. 唐揚げ
2. 麻婆豆腐
3. ラーメン

```
<ol>  
<li> ██████████ </li>  
<li> ██████████ </li>  
<li> ██████████ </li>  
</ol>
```


definition list 略

- 定義リスト

リスト

```
<dl>
```

```
<dt> 定義する用語 </dt>
```

```
<dd> 用語に対する説明 </dd>
```

```
</dl>
```

dl タグの中に入れることができるのは「dt」「dd」のみです。それ以外のタグは入れることが出来ません。

```
<dl>
```

```
<dt> きりん </dt>
```

```
<dd> 首が長い動物 </dd>
```

```
<dt> ぞうさん </dt>
```

```
<dd> 鼻が長い動物 </dd>
```

```
</dl>
```

```
<dl>
```

```
<dt> きりん </dt>
```

```
<dt> ぞうさん </dt>
```

```
<dd> 主に動物園で飼われています。 </dd>
```

```
</dl>
```

```
<dl>
```

```
<dt> ぞうさん </dt>
```

```
<dd> 長い鼻で、物を掴むことができます。 </dd>
```

```
<dd> 水しぶきを上げたりします。 </dd>
```

```
<dd> たまにパオーと言ったりします。 </dd>
```

```
</dl>
```

<dl>

用語の定義に限らず、例えば更新情報の「日付」と「更新内容」、Q&Aの「質問」と「答え」、といった表現にも使用することができます。

```
<dl>
```

```
<dt>9月24日</dt>
```

```
<dd>会社概要を更新しました</dd>
```

```
<dt>10月5日</dt>
```

```
<dd>今週の目玉商品を更新しました</dd>
```

```
</dl>
```

```
<dl>
```

```
<dt>送料はかかりますか？</dt>
```

```
<dd>いいえ、かかりません。全国無料でお届けいたします。</dd>
```

```
</dl>
```

定義部分

Definition Term

<dt>

デフィニション ターム

ブロック要素は入れられない

定義リスト「dl」の定義部分を司る「dt」タグ。

dtの中にはインライン要素のみが入れられます。

間違いやすいのは、dtの中に見出し要素のhタグを入れるケースですが、これはブロックレベル要素なので入れられません。

【このタグに入れられるもの】

a、img、span、strong、em…などのインライン要素

説明部分

Definition Description

<dd>

デフィニション ディレクション

どんな要素でも入れられる。

定義リスト「dl」の説明部分を司る「dd」タグ。

ddの中にはどんな要素も入れられます。

hでもdivでもリストタグなどのブロックレベル要素もOK。

dtはインライン要素のみ ddは何でも入れられます。

この2点の違いを把握しておきましょう。

【このタグに入れられるもの】

div、h1～h6、p、ul、dl、ol、li、span、img、strong、em…など

※注意：HTML5では、インライン要素とブロックレベル要素の分類(としての考え方)は廃止されています。

定義語リストを作成する場合には、<dt>～</dt>の中に配置する言葉を<dfn>～</dfn>で囲むことで、その言葉が定義語であることが明確になります。

テキストの意味 Text-level semantics

強調する（アクセントを付ける）

強い重要性（より強く）

<small>

免責・警告・著作権などの注釈や細目

Bold(太字になります)

文書内のキーワードや製品名など、他と区別したいテキスト

削除された部分

<ins>

Insert の略

追加された部分

<q>

Quotation (引用) の略

引用句・引用文

<i>

・・・声や心の中で思ったことなど、他と区別したいテキストを表す際に使用します。イタリック体になります。

<time> 正確な日付や時刻



<p> 日付 : <time>2011-12-03</time></p>

<p> 時間 : <time>13:05</time></p>

<p> 日時 : <time>2011-12-03T13:05:30+09:00</time></p>

 や <ins> の使い方

<p> 従業員を募集しています。</p>

<ins>

<p> 定員に達しましたので従業員の募集を終了しました。
たくさんのご応募ありがとうございました。</p>

</ins>

<ins>

後から追加された部分

<blockquote>

引用・転載

昔から伝わる日本昔話によると、桃太郎は桃から生まれたそうです。桃太郎はこんな風に始まります。

<blockquote>

むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へしばかりに、おばあさんは川へせんたくに行きました。おばあさんが川でせんたくをしていると、ドンブラコ、ドンブラコと、大きな桃が流れてきました。

</blockquote>

桃から生まれたので、桃太郎という名前を付けたと言われ、やがて成長して悪い鬼を退治する勇敢な男の子のお話です。

<address> その文書に関する連絡先・問合せ先

住所に限らず、ホームページのリンク先・メールアドレス・住所・電話番号・FAX 等連絡をとるために必要な情報を配置することができます。囲んだ部分はイタリック体で表示されます。

<address>

個人情報に関するお問合せ

プライバシーポリシー：

http://www.hoge.com/

Eメール：info@hoge.com

住所：〒000-0000 ○○県○○市○○町 0-0-0

T E L：000-000-0000

F A X：000-000-0000

</address>

<h1>

6段階あります。

<h6>

Heading
見出し

見出しを意味します。<h1> が最上位の見出し（大見出し）で、以下数字が小さくなるにつれて下位の見出し（小見出し）となります。<h6> が最下位の見出しです。

<h1> 見出し 1</h1>

<h2> 見出し 2</h2>

<h3> 見出し 3</h3>

<h4> 見出し 4</h4>

<h5> 見出し 5</h5>

<h6> 見出し 6</h6>



<h1>

<h2>

<h3>

<h4>

<h5>

<h6>

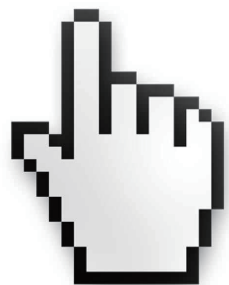
anchor
<a>

ハイパーリンクを指定

HTML5 では href 属性を使わず、a 要素のみでダミーリンクを表現できるようになりました。

<a> は、リンクを意味するタグです。<a> タグには、href 属性が必須で、その値には、リンク先のファイルを「相対パス」もしくは「絶対パス」で指定します。ウェブページ内のテキストや画像などを <a> ~ で囲んで必要な属性値を指定してやることで、ハイパーリンクの始点（出発点）や終点（到達点）とすることができます。

テキストや画像



anchor

target="" "

ターゲットリンクを指定

a 要素に target="" を追加すると、
リンク先のウィンドウを指定できます。

新規のウィンドウに表示

`_blank`

※色々あるターゲット指定

`_self` 現在のウィンドウ（フレーム）に表示

`_parent` 親ウィンドウ（フレーム）に表示

`_top` フレームを解除してウィンドウ全体に表示

アンカーリンクを指定（ページ内指定）

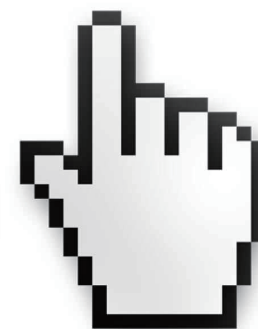
ページ内リンクを作成したい場合は、a 要素と id 属性を使って以下のように設定します。

リンク元（出発点）

`「犬の種類」の位置へジャンプ `

リンク先（到達点）

`<h2 id="dog">犬の種類について </h2>`



Image

画像を挿入する

画像を表示します。単独では使いません。src 属性とセットで使います。

一般的なブラウザで表示できる画像フォーマットとしては、PNG・GIF・JPEG がよく利用されています。他にも、ウェブ用のベクター画像フォーマットである SVG や、単一ページの PDF・アニメ PNG・アニメ GIF などを src 属性の値として指定できます。

alt 属性には、画像が利用できない環境向けのテキストを指定します。HTML5 では alt 属性は必須ではありませんが、指定しておけばアクセシビリティが高まるでしょう。

```

```

<iframe>

インラインフレームを作る

<iframe> タグは、インラインフレームを作る際に使用します。インラインフレームとは、文書内に別の文書などの閲覧コンテンツを入れ子に配置したもののことです。

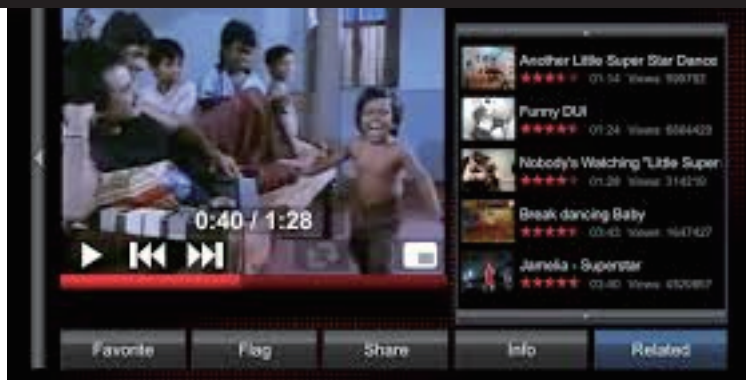
src 属性は、文書内に別の文書をフレーム表示する際に使用します。src 属性の値には、フレーム表示する文書の URL を指定します。

例

YouTube



YOU TUBE や GogleMap を埋め込みます。



<table>

テーブルを作る

<table>	テーブル
<tr>	行
<td>	セル
<th>	見出しセル

見出しセルと scope 属性

scope="col"

<th scope=" " >
カラム
col →

行方向（横列）のセルを対象にする

ロウ
row ↓
列方向（縦列）のセルを対象にする

基本タグを覚えよう



